



学校便り 第15号
R3.12.2発行

夢ひろば

ひたちなか市立長堀小学校
住所：ひたちなか市長堀町3丁目5番1号
電話：029-274-5800



みのむし(きらり組の教室)

写真で振り返る11月「遠足」「持久走大会」

【11/8(火)】1年生:アクアワールド大洗
あいにくの雨でしたが、子供たちはイルカショーや館内の見学を楽しみました。



【11/9(水)】6年生:福島方面
あぶくま洞(鍾乳洞)やいわき・ら・ら・ミュウ見学で、小学校最後の遠足を楽しみました。



【11/26(金)】持久走大会
1・2年生は800M(グラウンド)、3・4年生は1000M(グラウンド+外周)、5・6年生は1200M(グラウンド+外周)を走りました。昨年度は、ひたちなか総合公園で実施しましたが、今年度は、学校で実施しました。

秋晴れのあたたかい1日で、高学年の時間帯(10:50~)は、汗ばむくらいの陽気でした。児童一人一人が自分のめあてをもって、今日まで練習を積み重ねてきました。参加児童は皆、完走できました。お家の方々の声援や友だちの励ましの声に背中を押され、いつも以上に力を発揮することができたようです。



第2回学校運営協議会並びに学校関係者評価委員会(11/25木)

学校運営協議会の委員の方々と学校関係者評価委員の方々に来校していただき、第2回を実施しました。

今回の主な内容と、ご意見は以下のとおりでした。

- (1) 授業参観および校内の施設等見学
- (2) 給食試食(茨城を食べよう週間)
- (3) 学校経営の進捗状況の説明
- (4) 学校教育活動に関するアンケート結果の報告および考察

協議会委員より、以下のご意見をいただきました。

(1)の内容について

- ・教育活動の進め方が柔軟で多様性にあふれており、先生方の指導も熱心で子供たちの学習への取組も意欲的で活気がある。
- ・授業や施設の参観を通して、学校が常に変化・発展し続けていることを実感した。
- ・コロナ禍であって「新しい学校の生活様式」の徹底と「ICT(タブレット)を活用した新しい授業形式」



の徹底は、学校経営の在り方に大きな変化をもたらしていると考えている。

(2)の内容について

・栄養はもちろん、心まで満たされる安全で美味しい給食を試食し、長堀小の自校給食の素晴らしさを実感した。

(3)の内容について

・中島校長より、前期の学校経営（方針・重点目標・施策・成果と課題等）の進捗状況と後期の学校経営の取組について説明いただきました。

・長堀小学校は中島校長のリーダーシップの下、チーム長堀の力を集結し、チャレンジ精神をもって教育活動に取り組むことにより、学校経営の改善と充実が図られ一定の成果を収めていると感じた。

(4)の内容について

・教育活動のアンケートは学校経営の改善を図り、教育の質を向上させるという意味において、学校評価の極めて有力な手段の1つとして機能できた。

・アンケートの一連の作業負担が非常に重かったが、WEB回答に切り変えたことにより省力化が実現した。ICT活用は大きなメリットがあったと言える。

・保護者の教育活動に対する評価は、課題はあるものの、総じて「良好」もしくは「概ね良好」と言える。

・特に項目2と8の評価は、保護者の教育活動への信頼と満足の現れであり、教職員への大いなる励みになると言える。学校だより第14号で公表した「考察および今後の努力目標」を基本とし、実効性がある無理なくできる具体的な手立て（方策）をもって、実践を着実に積み上げて欲しい。

今年度も残すところ、4ヶ月となりました。過日の学校教育活動に関するアンケート結果に基づき、学校運営協議会でいただいたご助言に基づき、課題となった点を改善できるよう努めてまいります。

令和3年度「理科教育優秀校」に選ばれました(11/30 火)

長堀小学校が長年取り組んできた、「中丸川」に関する教育活動（環境教育・米づくり・サケの放流等）や理科学習作品展・発明工夫作品展への応募および入賞、今年度においてはSDGsの研究を行ってきていることに対して認められた賞です。

これは、大変名誉な賞で、嬉しくもあり今後も継続して理科教育に励んでいきたいと強く思いました。贈呈式には、茨城県教育庁の田辺副参事、作間主査、水戸教育事務所の眞崎指導主事、市教委指導課の池田指導主事が来校されました。本校からは、中島校長と今年度の取組「SDGs研究員」代表の6年3組の佐々木春音さんが立ち会いました。

